

減損会計における使用価値の計算例

第4年度末の決算における減損検査（その時点での帳簿価額＝未回収額が今後の収益で全額回収できそうかの検査）を行うにあたっての割引前使用価値と割引（後）使用価値の計算例。

次の5年間（第5～9年度目）のキャッシュフローを年ごとに予測し、その後（第10～15年度）のキャッシュフローは毎年度、対前年度比でマイナス5%の成長率に基づいて見積った。その結果は次のとおりであった。

ここで使用価値を見積るにあたって、貨幣の時間価値、およびここでの資産グループに特有のリスクを反映した割引率を8%とした。

この資産グループの将来キャッシュフローの見積り計算表

年 度	将来キャッシュ フロー（割引前） (a)	8%の割引現価係数 $1 / (1 + 0.08)^n$ (b)	将来キャッシュ フロー（割引後） (c) = (a) × (b)
第5年度	230	0.92593	213
第6年度	200	0.85734	171
第7年度	165	0.79384	131
第8年度	140	0.73502	103
第9年度	115	0.68060	78
第10年度	109	0.63016	69
第11年度	104	0.58350	61
第12年度	99	0.54028	53
第13年度	94	0.50025	47
第14年度	89	0.46320	41
第15年度	85	0.42889	36
合 計	1,430		1,003

（例）第7年度

<別解>

$$\text{割引現価係数} = 1 / (1 + 0.08)^3 \doteq 0.79384$$

$$165 / (1.08)^3 \doteq 131$$

$$\text{割引現在価値} = 165 \times 0.79384 \doteq 131$$